

令和6年度

# 茜部小学校保護者学校教育アンケート結果

令和7年2月21日

茜部小学校保護者対象に行った学校教育アンケート結果及び、来年度に向けた改善の方向についてまとめました。

## ＜アンケート結果の見方＞

本アンケートは、「4 当てはまる」「3 やや当てはまる」「2 どちらかという」と当てはまらない」「1 当てはまらない」「0 分からない」の5段階で、回答をいただきました。回答結果を、4点満点のポイントに換算し、算出した結果を以下の表に示しました。

前年度との比較は、ポイントの平均値で昨年度の評価と比べ、「**向上↑**」「**同等→**」「**減少↓**」で示しました。

## 令和6年度 茜部小学校保護者学校教育アンケート結果について

【評価結果】

回収率70.5%(昨年度75%)

	評価項目	保護者評価					R6	R5	前年との比較
		4	3	2	1	0	ポイント平均	ポイント平均	
1	お子さんは、自分の夢や願いをもって生活している。	130	274	101	20	20	3.0	3.0	→
2	お子さんは、目標やめあてに向かって努力していると思う。	157	288	70	16	13	3.1	3.1	→
3	お子さんは、仲間と一緒に活動することを楽しんでいる。	358	169	9	2	5	3.6	3.6	→
4	お子さんは、自分のよさや自分の得意なことに気付いていると思う。(I like Me!)	158	302	63	11	9	3.1	-	-
5	お子さんは、進んであいさつをしている。	180	214	115	29	5	3.0	3.1	↓
6	お子さんは、きまりやマナーを守って生活している。	223	254	58	4	5	3.3	3.4	↓
7	お子さんは、授業に集中し、意欲的に取り組んでいる。	176	272	54	16	25	3.2	3.2	→
8	お子さんは、話す力・聞く力をつけていると感じる。	175	283	65	11	11	3.2	3.2	→
9	お子さんは、英語の学習で進んで発言したり、仲間と楽しみながら学習したりしている。	124	238	92	27	63	3.0	2.9	↑
10	お子さんは、掃除や当番活動を最後までやり抜こうとしている。	315	191	18	9	11	3.5	3.6	↓
11	お子さんは、進んで健康づくり(運動、食、保健)に取り組んでいる。	194	256	72	13	9	3.2	3.2	→
12	お子さんは、学校の諸活動(行事等)で、楽しく協力し合って活動している。	297	200	13	4	31	3.5	3.6	↓
13	職員は子どものよさを見つけ、子どもに寄り添って意欲につながる言葉をかけている。	328	166	16	9	25	3.6	3.4	↑
14	職員は、よりよい学級づくりを目指して熱心に取り組んでいる。	315	169	13	5	41	3.6	3.5	↑
15	職員は、いじめ防止・早期発見に取り組んでいる。	268	176	7	5	86	3.5	3.4	↑
16	学校の教育方針、子どもの学習や生活の様子等について、学校だよりやすぐメール、学年や学級通信等で情報提供がされている。	250	254	20	4	16	3.4	3.3	↑
17	学校は保護者や地域の方と連携して教育活動を進め、学校をよりよくしようと努力している。	250	234	13	4	43	3.5	3.3	↑

## 保護者様の評価の傾向と本校教育活動の改善の方向

### <成果>

○評価平均ポイントが 3.5pt 以上の項目

項目	ポイント	昨年
③仲間と一緒に活動する	3.6	3.6
⑩最後までやり抜く	3.5	3.6
⑫楽しく協力し合って活動	3.5	3.6
⑬職員の児童への寄り添い	3.6	3.4
⑭熱心な学級づくり	3.6	3.5
⑮いじめ未然防止の取組	3.5	3.4
⑰学校と地域との連携	3.5	3.3

- ・子どもは学校を、仲間と一緒に活動できる楽しい場所と感じて、意欲的にねばり強く、学習や活動に励んでいる。
- ・学級担任や教科担任の授業の工夫や、生徒指導対応、子どもへの価値付けが、教師の実際の動きと、通信やHP等の可視化された取組により、保護者や地域にも伝わっている。
- ・いじめ未然防止の大切さが子ども、保護者ともに浸透している。引き続き、安心安全な学校づくりに励んでいく。

### <課題>

●評価平均ポイントが 3.1pt 以下の項目

項目	ポイント	昨年
①夢や願いをもって生活	3.0	3.0
②目標めあてをもって努力	3.1	3.1
④自分のよさに気付く	3.1	新設
⑤進んであいさつする	3.0	3.1
⑨英語学習に進んで参加	3.0	2.9

- ・今年度は「I like me! (自分にイイね)」を合言葉に自分のよさ見つけに取組んだことで、目標に向かって努力し自己肯定感が向上した。しかし、自分のよさを控えめに自己評価したり、よさを表出しきれなかったりする姿もあるため、他者に伝わりにくいこともある。自己表現への支援に努めていきたい。
- ・朝のあいさつ運動などで、子どもが自主的にあいさつを広げる動きがあった。今後は、日常的なあいさつにも力を入れていく。
- ・英語学習に限らず、抵抗のある学習にも、前向きに挑戦できる学習姿勢づくりに努める。

学校の取組の成果が伝わっている

子どもに身に付いた姿が広がっていない

前年度平均ポイント 3.3pt 今年度平均ポイント 3.3pt ➡ 目標平均ポイント 3.5pt 以上

## 子ども主体で取り組み、「できた」ことを価値付け、見える化

学校での取組・活動・発信

☆子どもとともに創る「I like Me!」  
(やってみたいを創る活動、授業、子どもが活躍できるフラワータイム 等)

☆子ども主体の授業、家庭学習の工夫  
(仲間との交流を通じた自己表出、自己努力を紹介する機会の充実 等)

☆子どもが創る安心安全な生活の充実  
(子ども主体のあいさつ活動、生活習慣向上、いじめ未然防止の取組の発展 等)

家庭・地域で実践する子ども